

アグリネット946



2年目となるアグリミーティング高校生発表は『育成・繁殖・食品』の分科会形式で開催

アグリミーティング2018inしべちゃ

標茶高校生を招いた開催として2年目となる、昨年12月のアグリミーティングは110名の参加がありました。

アグリネット946では1年かけて高校生との対話のあり方を議論し、今回は分科会形式で開催しました。

その結果、高校生がプロジェクト活動に取り組む中で感じた疑問点を受け止め、農家側から具体的な経験談を伝えることができたので、前回よりも有意義な時間にできました。午前中の各クラブの発表も午後の高校生の発表も、課題の目的や取り組みが非常にわかりやすく、実践してみたいと感じるものばかりでした。

年に一度の限られた時間ですが、高校生にとっては自分達の取り組みを発表する場として、私たちにとっては高校生に農業のやりがいや技術向上に取り組む4Hクラブ活動を伝える場として、お互いに有効活用しながら釧路管内の新たな伝統行事として続けていきたいと思えます。

【アグリネット946 前代表世話人 中山貴裕】

発表課題一覧 (発表順)

部門	所属	発表者	タイトル	釧路	全道
メッセージ	阿寒4Hクラブ	城川 大地	死ぬかと思った	最優秀	
プロジェクト (畜産)	白糠町4Hクラブ	對木 隼憲	後産停滞～試される後産の処置	優秀	優秀
	白糠町4Hクラブ	中河 晴基	マイナスからのスタート		
	標茶町	大宮 睦美	乾乳期の重要性		
	フロンティア21	常陸 恭尋	風ニモマケズ、虫ニモマケズ Part2	最優秀	
	白糠町4Hクラブ	細谷 亮太	育成管理プロジェクト シーズン2		
	鶴居村農友会	菊地 大輔	発情スコア法活用プロジェクト		
標茶高校 プロジェクト 発表	畜産 繁殖ゼミ	齊藤・高本	安心して産まれておいで		
	畜産 育成ゼミ	田村・高橋	皮膚病調査 with 共進会		
	食品加工 鹿肉ゼミ	岩田・森田	立ち上げれ「毘ガール」～ジビエで繋ぐ命と地域		
	食品加工 牛乳ゼミ	吉田・大友	乳製品で標茶町活性化プロジェクト		

参加者の声



【高校生】

- どんな質問が来るのか不安だったが、意見交換が一瞬に感じるほど楽しかった。
- 農業法人に就職するので、非農家の自分にとって役立つ話や出会いがあった。
- 質問に自信を持って答えられるよう、来年の発表に向けて取組を充実させたい。



【農業青年クラブ】

- 農家にはない視点に感心した。我が家でも活用してみたいことが色々あった。
- 高校生だけで無く、農家からも様々な視点で意見が出て、昨年より交流しやすかった。
- 農家と高校生が連携したプロジェクト活動に発展して行けたら良い。

北海道青年農業者会議に出場して

プロジェクト発表（畜産経営部門） 白糠町4Hクラブ 對木 隼憲さん

全道青年農業者会議ではクラブで取り組んできた後産停滞に関するプロジェクト発表を行いました。惜しくも全国の道は掴めませんでした。練習した成果を発揮できました！

また後輩のクラブ員を多数連れて行くことが出来たので、今後の活動に向けて良い刺激になりました。これからもクラブ員みんなでプロジェクト活動に取り組んで行きたいと思います！



プロジェクト発表（畜産経営部門） J Aしべちゃ青年部フロンティア 21 常陸 恭尋さん

とうもろこし（サイレージ用）収量向上に向けて取り組んだ2年間の成果を、札幌で発表できたこと嬉しく思います。

昨年度の反省を生かして栽培改善に取り組んだことで成果につながったことは、自分自身、成長できたと感じています。

全道ではレベルの高い発表を多く聞くことができ、とても勉強になりました。プロジェクトを支援してくれた関係機関の皆さん、一緒に練習してくれた会員のみんな、ありがとうございました！



アグリメッセージ発表 J A阿寒青年部4Hクラブ 城川 大地さん

北海道青年農業者会議の中で、色々な農業者のメッセージや活動を知ることができました。今回、アグリメッセージにチャレンジして外に出たことで、良い刺激をもらえることができた実感しています。

今後も色々な事に挑戦していきたいです。

最後に、全道大会に向けて協力してくれたクラブ員のみなさん、本当にありがとうございました。



各クラブの平成30年度 下半期の活動紹介

白糠町4Hクラブ

秋以降はプロジェクト発表に向けた例会や忘年会、祝勝会など様々な活動をみんなで楽しく行ってきました！

現在は、継続中の育成管理改善プロジェクトを31年度どのように取り組むか検討しています。

会員も増えて活発化してきた白糠町 4H クラブは、今後も精力的に活動していきます！



来年度の活動に向けて検討中！

JA 阿寒青年部 4H クラブ

30年度は、部員間の交流と活動費の確保を目的に、牛舎のウォーターカップ清掃事業を開始しました。農協の全農家に FAX で呼びかけたところ、4戸から申し込みがあり、クラブ員が協力して清掃に訪れました。

普段なかなか見ることのない他人の牧場の飼養環境を見て話す機会ができ、大変有意義な活動となっています。今後も、地域とつながる活動を続けていきたいです。



2月15日
ウォーターカップ
清掃の様子

鶴居村農友会

農友会では4年ぶりにプロジェクトに取り組み、アグリミーティングでは会長が発情スコア法による繁殖改善について発表しました。受賞はできませんでしたが、現地調査や発表準備を通じて会の活気につながりました。

その熱も冷めないうちに今年3月には NOSAI の獣医師を招いた勉強会で「オホーツク管内における繁殖検診の優良事例」を学び、妊娠率を意識した飼養管理の大切さを知ることができました。



冬季交流会 (H31, 3, 13)



管内6クラブから18名の参加があった他、道連活動でも交流のある根室管内4Hクラブ協議会からも3名が駆けつけてくれて、地域を越えて親交を深めることができました。

JAしべちゃ青年部 フロンティア21

2月に標茶町でとうもろこし(サイレージ用)収量向上に向けた情報交換会が開催されました。

町内4農場で取り組まれた施肥・防除の試験成績が報告され、常陸会長も北海道青年農業者会議で発表したプロジェクトの成果を地域の農家や関係機関に紹介しました。2年間のプロジェクトによって緩効性肥料の活用や雑草の種類に応じた防除に「取り組んでみたい」という農家もあり、地域の関心を高めることにもつながりました。



弟子屈町4Hクラブ

昨年12月には恒例の忘年会を開催！33名が参加し、交流を深め合いました。

2月にはクラブ員からの希望により、GAP・HACCPをテーマにした勉強会を行いました。

参加したクラブ員からは「オリンピック後もGAPやHACCPの取組は続くのか」、「作物が異なる農家同士でも団体認証をとれるのか」などの質問があった他、「難しい内容だと思っていたが、普及センターによる説明はとてわかりやすかった」等の声があり、有意義な勉強会になりました！



12月 忘年会の様子

酪匠HBC

『酪農経営について考えてみよう』というテーマで2月に学習会を開催し、8名が参加しました。

普及センターでクミカンの見方や投資の判断について学んだクラブ員からは、「少し内容が難しかったけど、経営移譲すれば直面する課題なんだよな」という声もあり、経営者としての自覚につながる学習会になりました。



クミカンの見方など経営管理手法を学んだ

代表の退任あいさつ



中山貴裕さん(厚岸町)

3年間、アグリネット946代表を務めさせて頂きました。この間、道連加盟やアグリミーティング高校生発表開始・規約づくりなど、活動体制の充実を図ることができました。

一方で、後継者不足等の影響により活動が継続できなくなったり、新会員確保に苦勞しながら活動しているクラブがあるのも現実です。僕自身は、釧路や道内の農家が市町村・JAの垣根を越えて気軽に交流ができる4Hクラブとネットワークを絶対になくしたくありません。

これからの若い世代の皆さんには、より魅力ある組織・活動に変えていきながら、仲間と取り組む4Hクラブ活動のすばらしさを実感して行ってほしいなと思います。

3年間、ありがとうございました。